

別記様式第2号（その1の1）

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学院の設置									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン フクオカガクエン 学校法人福岡学園									
フリガナ大学の名称	フクオカカンゴダイガクダイガクイン 福岡看護大学大学院 (Graduate School of Nursing (Master's Degree), Fukuoka Nursing College)									
大学本部の位置	福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号									
大学の目的	福岡看護大学大学院は、看護学に関する学術の理論・応用を専門的に教授研究し、高度な専門職業人を育成することを通して、人々の保健・医療・福祉に寄与することを目的とする。									
新設学部等の目的	看護師として高度の専門性が求められる業務に必要な知識・技能・態度等を修得し、研究マインドを持って、主として医療看護を対象とする臨床研究の遂行能力を有する人材を育成することを目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	年	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	看護学研究科 〔Graduate School of Nursing〕 看護学専攻 〔Master Course of Nursing〕 計	2	5人	0人	10人	修士 (看護学) (Master of Science in Nursing)	年月 令和3年4月 第1年次	福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号		
【基礎となる学部】 看護学部看護学科										
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等) 該当なし										
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	看護学研究科 看護学専攻修士課程	講義	演習	実験・実習	計	32単位				
		14科目	2科目	0科目	16科目					
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
	新設分	看護学研究科 看護学専攻（修士課程）	教授	准教授	講師	助教	計	助手		
			11人 (11)	5人 (5)	- (-)	- (-)	16人 (16)	0 (0)	5人 (5)	
		計	11人 (11)	5人 (5)	- (-)	- (-)	16人 (16)	0 (0)	5人 (5)	
	既設分		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
			- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
計		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
合計			11人 (11)	5人 (5)	- (-)	- (-)	16人 (16)	0 (0)	5人 (5)	
教員以外の職員の概要	職種			専任		兼任		計		
	事務職員			7人 (7)		2人 (2)		9人 (9)		
	技術職員			0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員			1 (1)		1 (1)		2 (2)		
	その他の職員			0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計			8 (8)		3 (3)		11 (11)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	福岡歯科大学 (11,047㎡)・福 岡医療短期大学 (3,200㎡)と共用 ()内は設置基 準面積				
	校舎敷地	0㎡	70,453.71㎡	1,159.00㎡	71,612.71㎡					
	運動場用地	0㎡	22,403.77㎡	0㎡	22,403.77㎡					
	小 計	0㎡	92,857.48㎡	1,159.00㎡	94,016.48㎡					
	そ の 他	0㎡	0㎡	9,503.58㎡	9,503.58㎡					
合 計	0㎡	92,857.48㎡	10,662.58㎡	103,520.06㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	福岡歯科大学 (17,200㎡)・福岡 医療短期大学 (3,450㎡)と共用 ()内は設置基 準面積				
		6,915.33㎡ (6,915.33㎡)	7,653.33㎡ (7,653.33㎡)	32,185.64㎡ (32,185.64㎡)	46,754.30㎡ (46,754.30㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	4 室	8 室	4 室	1室 (補助職員-人)	0室 (補助職員-人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		看護学研究科看護学専攻		27 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部単位での特定 不能なため、大学 全体の数		
	看護学研究科看護学専攻	7,599 [360] (7,599 [360])	39 [6] (39 [6])	4 [4] (4 [4])	380 (380)	6,427 (6,427)	24 (24)			
	計	7,599 [360] (7,599 [360])	39 [6] (39 [6])	4 [4] (4 [4])	380 (380)	6,427 (6,427)	24 (24)			
図書館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		396.37㎡		96	16,640					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				福岡歯科大学・福 岡医療短期大学と 共用		
		3,672.00㎡		弓道場		テニスコート他				
経 費 の 見 積 り 及 び 持 続 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費につい ては、視聴覚資料 を含む	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等		188千円	375千円	-	-	-		-
		共同研究費等		-	-	-	-	-		-
		図書購入費	2,737千円	-	-	-	-	-		-
		設備購入費	5,336千円	-	-	-	-	-		-
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	900千円	700千円	-	-	-	-				
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、補助金収入等								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	福岡看護大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	看護学部看護学科	4年	100人	-	400人	学士(看護学)	1.12倍	平成29年度	福岡県福岡市早良区 田村二丁目15番1号	
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	福岡歯科大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	口腔歯学部口腔歯学科	6年	120人	-	720人	学士(歯学)	0.78倍	昭和48年度	福岡県福岡市早良区 田村二丁目15番1号	
歯学研究科歯学専攻	4年	18人	-	72人	博士(歯学)	0.60倍	昭和60年度	福岡県福岡市早良区 田村二丁目15番1号		
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	福岡医療短期大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	歯科衛生学科	3年	80人	-	240人	短期大学士(歯科衛生学)	0.74倍	平成9年度	福岡県福岡市早良区 田村二丁目15番1号	
保健福祉学科	2年	-	-	-	短期大学士(介護福祉学)	-	平成12年度	福岡県福岡市早良区 田村二丁目15番1号		
附属施設の概要		該当なし								

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護学研究科看護学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
科看護基盤目盤	健康支援特論	1前	2			○			3	1					オムニバス
	対人関係特論	1後	2			○			3						オムニバス
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			6	1	0	0	0	0	—
看護統合科目	口腔医療看護特論	1通	4			○			2	1					兼1 オムニバス
	看護教育特論	2通	4			○			2						オムニバス
	看護倫理特論	1通		4		○			1						兼1 オムニバス
	看護管理特論	2通		4		○			2						オムニバス
	看護情報特論	1通		4		○				1					兼3 オムニバス
	小計(5科目)	—	8	12	0	—			5	2	0	0	0	0	兼5 —
看護領域科目	看護援助特論	1通		4		○			2	1					オムニバス
	成人看護特論	1通		4		○			3	1					オムニバス
	高齢者看護特論	1通		4		○			1						
	精神看護特論	1通		4		○			1						
	母子看護特論	1通		4		○			1	1					オムニバス
	公衆衛生看護特論	1通		4		○			1	1					オムニバス
	看護領域演習	2前	2				○		4	1					共同
	小計(7科目)	—	2	24	0	—			9	4	0	0	0	0	—
科看護研究目究	看護研究方法	1前	2			○			1						
	看護特別研究	1通、2通	8				○		10	5					
	小計(2科目)	—	10	0	0	—			10	5	0	0	0	0	—
合計(16科目)		—	24	36	0	—			11	5	0	0	0	0	兼5 —
学位又は称号		修士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
看護学研究科看護学専攻修士課程の修了要件は、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位数として、「看護基盤科目」から必修科目2科目4単位、「看護統合科目」から必修科目2科目8単位、「看護領域科目」から必修科目1科目2単位、「看護研究科目」から必修科目2科目10単位を取得し、「看護統合科目」から選択科目1科目4単位以上、「看護領域科目」から選択科目1科目4単位以上の合計32単位以上を取得するとともに、研究指導教員による研究指導を受けて、修士論文を作成し、論文審査及び口頭試問による最終試験に合格した者に対して「修士(看護学)」の学位を授与する。							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

別記様式第2号（その3の1）

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護 基盤 科目	健康支援特論	<p>生活の質を高め、最適な生活（well-being）を送るための健康支援のあり方についての理解を深めるとともに、生活者の視点に立った健康づくりや健康支援についての理解を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（8 樗木晶子／5回） 対象者の個々のあり方を尊重し、対象者の様々な要求に的確に応え、最適な生活（well-being）を支えるための医療や看護のあり方について理解を深める。</p> <p>（6 岡田賢司／4回） 感染症の概念と感染源や感染経路の違い、微生物の感染と疾患発症の区別の必要性、感染症と宿主の免疫・アレルギーとの関係についての理解を深める。</p> <p>（7 角森輝美／3回） 地域における健康づくりを推進するための健康政策の取組みについて、具体的な事例を取り上げながら考察することにより、生活者の視点に立った健康支援のあり方についての理解を深める。</p> <p>（15 晴佐久悟／3回） 口腔機能の低下と食欲・体力低下との関係及び器質的口腔ケアと機能的口腔ケアによるオーラルフレイルの予防効果や誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染予防について考察する。</p>	オムニバス方式
	対人関係特論	<p>看護の対象となる人々との人間関係の特徴について理解を深めるとともに、患者やその家族との信頼関係を構築するためのコミュニケーションに関する知識や技法についての理解を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（1）窪田恵子／5回） 看護の対象となる人々や家族との意思疎通や信頼関係を構築するためのコミュニケーションの方法やカウンセリングの技法について理解を深める。</p> <p>（9 中島富有子／5回） 患者や家族との援助的人間関係の構築に影響を及ぼす対人不安について、先行研究の考察を通して、その実態と改善の方法について理解を深める。</p> <p>（2 青木久恵／5回） 患者とのコミュニケーションに対する不安が軽減した要因についての考察を通して、援助的人間関係の構築を支援する方法について理解を深める。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護 統合 科目	口腔医療看護特論	<p>口腔ケアの定義や全身疾患との関連から対象者の状態に応じた口腔ケアの具体的な方法の理解とともに、口腔機能の維持向上が最適な生活 (well-being) の向上につながることを理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(1) 窪田恵子/7回 人々の健康の保持、増進、回復にむけた口腔ケアの意義について概説したうえで、口腔ケアを通してwell-beingを追求する看護の役割について考察する。</p> <p>(15) 晴佐久悟/10回 口腔ケアの定義及び口腔ケアと全身疾患との関連、歯周病と全身疾患との関連について概説したうえで、多職種連携による口腔ケアの必要性について考察する。</p> <p>(9) 中島富有子/7回 精神症状を有する人に対する口腔ケアの意義と実際について理解するとともに、精神疾患を有する人に対する口腔ケアの実践方法について考察する。</p> <p>(18) 内藤徹/6回 最適な生活 (well-being) の向上を目指した口腔ケアの実践・研修・調査・研究などの状況について概説するとともに、近年の口腔ケアに関する研究の特徴や動向について考察する。</p>	オムニバス方式
	看護倫理特論	<p>看護職の法的責任と任務及び職業倫理など看護職としての倫理観を高めるとともに、医療看護における倫理的課題の考察を通して、医療倫理的問題や看護倫理的判断への対応能力を高める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(3) 飯野英親/20回 出生前診断や遺伝医療における倫理的な課題の考察を通して、医療や看護を受ける人の尊厳を守るための医療倫理的問題や看護倫理的判断への対応能力を高める。</p> <p>(20) 永嶋哲也/10回 日本看護協会における看護者を対象とした行動指針についての考察を通して、看護職者の法的責任と任務及び看護の職業倫理について理解を深める。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護統合科目	看護管理特論	<p>看護管理における看護継続教育と人材活用や看護人材育成システムについて理解を深めるとともに、医療・看護実践の安全性を促進し、安全な医療・看護を提供するための意識を高める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(3 飯野英親/20回) 看護管理者に求められる知識体系の一つとしての看護継続教育及び人材活用について概説したうえで、看護継続教育及び院内継続教育システムについて実践的な事例を取り上げながら考察する。</p> <p>(5 内田荘平/10回) 医療事故防止のためのシステムアプローチとパーソンアプローチの必要性について概説したうえで、不安全行動の要因と医療事故防止にむけた継続教育のあり方や再学習の効果について考察する。</p>	オムニバス方式
	看護教育特論	<p>指導的立場にある看護職者が果たす教育的役割についての理解を深め、看護教育の成り立ちや質の高い看護教育を展開するための教育技法、看護職者に対する継続教育のあり方についての理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(1 名補充/10回) 看護教育の意義と役割及び看護教育の諸課題について理解を深めるとともに、社会のニーズに沿って変化してきた看護教育と看護学の成り立ちについて考察する。</p> <p>(2 青木久恵/10回) 看護職員に対する学習方法の支援の改善について、認知心理学的知見を踏まえた分析を行うとともに、認知カウンセリングの実践例から、自立した学習者の育成と指導の方法について考察する。</p> <p>(3 飯野英親/10回) 新人看護職員に対する医療安全アセスメント力を向上させるためのインシデントレポートを教材として活用した実践事例の考察を通して、医療安全教育についての理解を深める。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護 統合 科目	看護情報特論	<p>社会における情報化の進展と保健・医療・福祉のサービスの現場における情報の意義や役割についての理解を深めるとともに、看護・医療分野で情報や情報ツールを主体的に活用するための知識を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(16 吉田大悟/10回) 糖尿病の発症予測モデルのエビデンスをもとに開発されたICTツールを活用した地域における保健指導とその効果について、具体的な実践例の考察を通して理解を深める。</p> <p>(17 塚崎恵子/10回) 看護実践や看護管理活動における情報の活用に関する事例の考察を通して、看護情報の実践的・管理的な意義や役割及び看護現場における情報管理と看護活動についての理解を深める。</p> <p>(19 中島直樹/2回) 医療・看護における情報の意義と看護管理業務支援システムの活用及び医療分野における個人情報の取扱いや院内ネットワークと個人情報のセキュリティ管理について理解を深める</p> <p>(21 山下貴範/8回) 病院情報システム管理とネットワーク管理に関する基本業務及び医療・看護におけるデータベース構築やテキスト解析と診療情報の活用について理解を深める。</p>	オムニバス方式
看護 領域 科目	看護援助特論	<p>看護の援助を計画的に実施し評価する看護活動の過程についての理解を深めるとともに、適切な看護を実践するためのフィジカルアセスメントを基盤とした思考と実践の重要性について理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(1) 窪田恵子/10回) 症状が起こるメカニズム、病態とケア、観察ポイント、アセスメントの根拠、看護計画の立案、看護ケアについて、呼吸困難と不整脈に関する具体的な事例を取り上げながら考察する。</p> <p>(2 青木久恵/10回) 胸痛が起こる疾患とメカニズム、主な疾患における胸痛の特徴、疾患別の治療や看護についての考察を通して、看護の援助を計画的に実施し評価する看護活動の過程についての理解を深める。</p> <p>(13 梶原江美/10回) 系統的に全体をスクリーニングし、アセスメントするシステムレビューの考察を通して、対象者に適切な看護を提供するフィジカルアセスメントを基盤とした看護ケアの重要性の理解を深める。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護領域科目	成人看護特論	<p>成人各期の成長や発達の課題を考慮し、生活や健康の特徴、疾患や健康問題についての理解を深めるとともに、成人の特徴に基づいた看護の考え方と援助の方法についての理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(8 樗木晶子/8回) 臨床看護に必要な心電図と不整脈の知識について理解を深めるとともに、心疾患患者の治療と症状緩和や再発予防の取り組みについて、看護ケアの観点から考察する。</p> <p>(4 岩本利恵/8回) 難病を抱える患者の自己超越性の増加に関する先行研究の考察を通して、難病患者の自分らしく生きる力と心の健康の相関関係について理解を深める。</p> <p>(1 1 村田節子/7回) ストーマの特徴やケアとストーマ管理の課題及び合併症や緊急手術の際のストーマサイトマーキングと術後管理の考察を通して、がん患者へのケアについて理解を深める。</p> <p>(1 2 大城知子/7回) 慢性閉塞性肺疾患の進行による呼吸器機能の低下が身体活動のQOLに及ぼす影響及び疾患に対する認識や知識と気道感染への予防行動との関係について考察する。</p>	オムニバス方式
	高齢者看護特論	<p>高齢者の日常生活の中で多くみられる代表的な障害を取り上げて考察することにより、高齢者に対する理解を深めるとともに、高齢者に特有な徴候や疾患を取り上げ、病態や病状の把握の仕方や看護の方法についての理解を深める。具体的には、高齢者の睡眠障害の特徴と高齢者に多く認められる不眠への援助や安眠のためのケアについて考察するとともに、多疾患を有する高齢の虚血性心疾患患者への退院後介入の時期や方法について考察する。</p>	
	精神看護特論	<p>精神に障害のある人の社会参加支援や口腔ケアに関する実践例を取り上げて考察することにより、精神看護の意義と役割及び精神に障害のある人の看護についての理解を深める。具体的には、精神に障害のある人の社会参加に向けた退院支援や社会生活支援に対する精神科看護師の意欲を高めるための取組みについて考察するとともに、精神に障害のある患者に実施する口腔ケアの実態と精神科看護師が実施する口腔ケアの質の向上にむけた取組みについて考察する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護領域科目	母子看護特論	<p>母性の健康と看護及び新生児に対する看護に関する知識の理解を深めるとともに、健康問題のある小児とその家族に対する看護に関する知識の理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(14 永田華千代/15回) 褥瘡の浮腫に対する下肢及び腰背部マッサージの効果について考察するとともに、新生児に対する円滑な授乳を確立する生理的な要因について考察する。</p> <p>(3 飯野英親/15回) 出生前診断が両親の意思決定に与える影響と家族アセスメントについて考察するとともに、先天異常や染色体異常などによる健康障害をもつ子どもとその家族への看護支援について考察する。</p>	オムニバス方式
	公衆衛生看護特論	<p>地域における看護活動の展開方法と効果的な支援方法や地域ケアシステムの開発に関する理解を深め、様々な健康レベルへの支援及びQOLの向上を図るための理論と方法についての知識を深める。</p> <p>(オムニバス方式/全30回)</p> <p>(16 吉田大悟/20回) 地域高齢者における糖代謝レベルと日常生活動作障害リスクの関連について考察するとともに、疾患発症予測システムを活用した糖尿病予防に関する保健指導とその効果について考究する。また、地域一般住民における認知症発症リスクについて、認知症の危険因子とされる糖尿病・高血圧・喫煙と防御因子とされる食習慣や運動習慣との関連について考察する。</p> <p>(7 角森輝美/10回) 地域における健康づくりを推進するための健康政策の取組みについて、具体的な事例を取り上げながら考察することにより、生活者の視点に立った健康支援のあり方についての理解を深める。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護領域科目	看護領域演習	臨床現場をはじめとする看護実践の諸課題に関する具体的な事例を取り上げて考察することにより、課題発見能力や問題解決能力の向上を図るとともに、過去の研究結果を俯瞰する文献レビューや資料分析から発表や討論などを繰り返すことにより、自己の考えを展開することについて学修する。 また、講義科目において修得した専門知識の有用性について、模擬的な場面設定による体験型学習により実践的に学修するとともに、模擬学習の結果分析や課題検討を通して、看護実践の有効的なあり方について、実務的・多面的な側面から検証することにより、応用的な実践能力を高める。	共 同
看護研究科目	看護研究方法	看護師が専門的な知識と技術の向上や開発を図り、看護師として高度な看護実践の展開やより良い看護を探究するための課題解決に必要な研究活動に関する能力を高めるとともに、看護研究における倫理の必要性と倫理的配慮や研究者倫理についての理解を深めることを目的とする。 具体的には、看護実践を質的又は量的側面から扱う研究活動に必要な文献研究・事例研究・実験研究から、面接法、参加観察法、質問紙法、データ分析法など、研究デザインや研究手法について学修するとともに、対象者の人権擁護や研究不正の回避など、看護研究における倫理について学修する。	
	看護特別研究	研究指導教員による入学から修了までの継続的な研究指導体制をとるものであり、学生一人ひとりの研究計画に対応する個別指導を中心として、修士の学位に相応しいレベルの論文作成を行うことができるよう研究指導を行う。具体的には、自己の研究課題の設定にはじまり、研究計画の立案・調査・分析から論文の作成、研究成果の発表へと結び付けていくことにより、基礎的な研究能力の修得を図る。 (1) 窪田恵子 循環機能障害をもつ人の観察とアセスメント及び循環器系に機能障害をもつ人に対する看護など循環器病の診断と治療について研究指導を行う。 (2) 青木久恵 認知カウンセリング技法を活用した関連図を用いた学習支援法及び学習者の思考過程を支援するチャートを活用した教授法の有用性について研究指導を行う。 (3) 飯野英親 先天異常や染色体異常など遺伝性疾患による健康障害をもつ子どもとその家族がより良い療養生活を送るための看護援助の方法について研究指導を行う。 (4) 岩本利恵 難病を抱える患者における自己超越性が高まる要因及び自己超越性と主観的健康観や主体的幸福感との相関関係について研究指導を行う。 (6) 岡田賢司 病原微生物に関する知識を感染症に対する対応及び感染予防や感染症患者の看護の実際へ応用・発展させることについて研究指導を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護研究科目	看護特別研究	<p>(7 角森輝美) 地域で生活する人々や働く人々の健康障害の予防から健康づくりや健康生活を支援するための活動計画や実践活動に関する問題について研究指導を行う。</p> <p>(8 樗木晶子) 心不全患者の身体と認知や精神機能的確なアセスメント及び心不全増悪因子の評価と症状緩和のための看護ケアについて研究指導を行う。</p> <p>(9 中島富有子) 精神疾患を有する人の社会参加に向けた精神科看護師の意欲の向上を高めるための方法論及び社会参加支援を促進するリーダー育成の取組みと課題について研究指導を行う。</p> <p>(10 宮園真美) 高齢者や心疾患患者などの血管機能が低下した対象への温熱刺激による生理的・心理反応と看護への応用について研究指導を行う。</p> <p>(11 村田節子) がんの治療や症状に対する援助方法及び終末期や緩和ケアなど看護実践に活用するためのがん看護のあり方について研究指導を行う。</p> <p>(12 大城知子) 感染症の感染過程や感染経路などの感染症の特徴に基づいた感染症患者への対応と感染症患者のための看護ケアについて研究指導を行う。</p> <p>(13 梶原江美) 多様な健康問題を持つ対象者の身体状況の診査や診査に基づく臨床判断をするためのフィジカルアセスメント技術について研究指導を行う。</p> <p>(14 永田華千代) 褥瘡にみられる肩こりや下肢浮腫などの不快症状に対する看護介入方法として背部マッサージを用いた看護ケアについて研究指導を行う。</p> <p>(15 晴佐久悟) 口腔機能の低下と食欲・体力低下との関係及び器質的口腔ケアと機能的口腔ケアによるオーラルフレイル予防効果や誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染予防について研究指導を行う。</p> <p>(16 吉田大悟) 地域一般住民における認知症発症リスクについて、認知症の危険因子とされる糖尿病・高血圧・喫煙と防御因子とされる食習慣や運動習慣との関連について研究指導を行う。</p>	

学校法人福岡学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福岡歯科大学					福岡歯科大学				
口腔歯学部					口腔歯学部				
口腔歯学科	96	—	696		口腔歯学科	96	—	672	
計	96	—	696		計	96	—	672	
福岡歯科大学大学院					福岡歯科大学大学院				
歯学研究科					歯学研究科				
歯学研究科	18	—	72		歯学研究科	18	—	72	
計	18	—	72		計	18	—	72	
福岡看護大学					福岡看護大学				
看護学部					看護学部				
看護学科	100	—	400		看護学科	100	—	400	
計	100	—	400		計	100	—	400	
					福岡看護大学大学院				
					看護学研究科				大学院の設置 (認可申請)
					看護学専攻(M)	5	—	10	
					計	5	—	10	
福岡医療短期大学					福岡医療短期大学				
歯科衛生学科					歯科衛生学科				
歯科衛生学科	80	—	240		歯科衛生学科	80	—	240	
保健福祉学科					保健福祉学科				
保健福祉学科	0	—	40		保健福祉学科	0	—	0	
計	80	—	280		計	80	—	240	